

上浦地域 新たな地域コミュニティ組織を

考える会 を設立！

上浦地域の現状や課題などを把握し、上浦地域の将来について話し合い、地域や団体などが連携する新しい組織づくりに取り組むかどうか検討するため、8月31日に上浦地域の「新たな地域コミュニティ組織を考える会」(以下、「考える会」という。)を設立しました。

市もこの取組を重要施策として推進し、県の支援も頂きながら会の運営を行います。

構成メンバーは、上浦地域の将来を自分たちで考えていくことを希望された方々です。



考える会役員が決定！

- (会 長) 兒玉輝彦
- (副会長) 山矢隆彦
河野亜紀
- (監 事) 神野廣基
吉岡英児

皆さんも考える会に参加し、上浦の将来について一緒に話し合いませんか。

希望される方は、上浦振興局(電話32-3111)までご連絡ください。

第2回考える会
10月5日(木)19:00~
上浦地区公民館



裏面もご覧ください。

新たな地域コミュニティについて

社会の状況が変化し、新たな地域課題が増えてきています。

人口減少や少子高齢化、生活様式の多様化など社会状況が変化する中、地域では様々な問題が表面化してきています。

また、地域活動の担い手が不足しているといった声も聞かれます。

今後も暮らしやすい地域であり続けるためには、どうしたらよいのでしょうか。

東北や熊本の地震では、ご近所の力が大きかったって聞かぬ。

近くに店がなくなって買い物がしにくくなったなあ。

高齢になって、一人暮らしになると寂しいよね～



このような課題を解決するには、「地域の力」がとても大切ということが分かってきています。

一番わかりやすいのは、災害のとき。一人でできることには限りがあります。東北や熊本での震災のときには、「地域や身近にいる人同士が協力し、助け合うことがいかに大切か、強く感じた」という声も聞かれました。

また、日頃から近所の人同士であいさつを交わすなどして顔見知りの関係を作るとは、子どもや高齢者の見守りにもつながります。

なぜ、新たな地域コミュニティのしくみが必要なのでしょう。

地域では区長会など、様々な団体がそれぞれの目的を持って活動しており、「すでに連携できているから、新たな体制を作らなくても大丈夫」という声も聞かれます。

しかし、今は大丈夫でも、10年後、20年後、人口減少などにより各団体の担い手が少なくなったとき、それぞれの活動を続けていけるのでしょうか。また、地域の安全・安心を守ることができるのでしょうか。

今後も暮らしやすい地域であり続けるためには、「地域の団体がつながり、地域で必要なことを話し合って実行できる」新たな地域コミュニティのしくみが必要だと考えています。

市はこれまで以上に、地域に寄りそって支援していきます。一緒に暮らしやすい地域を作っていきます。

自分たちで決めて実行できる地域

地域住民や地域の団体同士が「つながる」ことでできること

- ・情報を共有することができます。
- ・団体単体ではカバーできないような困りごとを把握し、互いに協力することで、不足している取組を補うことができます。
- ・重複している活動の整理・統合や、取り組む活動の優先順位をつけることができますようになります。

様々な世代の人がしっかりと話し合いを行うことが大切です。

【お問い合わせ先】

- 1 佐伯市役所 地域振興部 コミュニティ創生課 住民自治推進係
電話：22-4059（コミュニティ創生課直通）
- 2 上浦振興局 電話：32-3111

【上浦地域】R5.8末現在(対前月)

- ・人口：1,686人（▲7人）
- ・世帯：387世帯（+2世帯）
- ・高齢化率：55.47%